



草場鉄周 先生

#### EBMへの強力なアプローチ

北海道家庭医療学センターでは、従来よりEBMの実践を裏付けるエビデンスの価値に重きをおいてきました。そして、当センターのスタッフは、現在の知識を維持するために、長年にわたってそれらのエビデンスを日常診療の参考としてきました。

一方、当センターではさらなる向上を図るために、どのようにすればスタッフがこれらの知識をより効果的に日々の診療に役立てることができるのかを、常に模索し続けており、私自身もこの使命をスタッフと共有しています。医師の先生方に教育の機会を継続的に提供することが当センターの目標ですが、これらの知識を日常診療に効果的に取り入れ、このことを地域社会に明確に伝えることも重要だと思っています。そして、このような実践を通して初めて、EBMは大きな力となり得ると考えています。

#### 信頼できる情報源

当センターでは数多くの学術誌やオンライン情報源にアクセスすることができますが、スタッフは最新の研究に関するエビデンスを参照したい場合には、日常的にBMJ Evidence Centreの*Clinical Evidence*にアクセスしています。*Clinical Evidence*が他の情報源とは異なった位置づけにあり、最新の知識を得ることができる最高の情報源となっているのは、ひとえにその批判的評価の質の高さにあると思っています。

#### 診断・治療における意思決定をサポートする新たなアプローチ・ツール

この点から、当センターでは、診断・治療における意思決定をサポートする新たなツールとして、BMJ Evidence Centreが新規に開発した*Best Practice*(従来の*Clinical Evidence*も装備)を採用しました。*Best Practice*は、臨床医が最新の研究エビデンス、専門医による意見やガイドラインの内容に直接アクセスできるように設計されたツールであり、そのたった一つの情報源から、10,000以上の診断やそれに関連した治療選択肢についての実践的なサポート情報を得ることができます。

学術誌や教科書に基づいた情報源から、多くの時間を費やして必要な情報を検索することもできますが、当センターをはじめとした多忙な医療施設では、質の高いエビデンス情報源に簡単にアクセスできることが求められます。

また、実際に直面している疾患に関連したエビデンスにアクセスできて初めて、本当にその研究のベネフィットを導き出すことができ始めるといえます。われわれは*Best Practice*を活用することによって、新たなエビデンスに基づく診断・治療ができるようになり、またこのようなエビデンスを専門医の意見やガイドラインを含むその他の医学的情報源と統合させることもできるようになりました。

#### 求める情報を瞬時に検索

当センターに*Best Practice*が導入されて以来、このツールの真の潜在能力が実際に活用され始め、現在ですでに医師の先生方が週に平均4～5回利用しています。

*Best Practice*のコンテンツは日々の臨床現場において非常に役立つものであり、網羅されているトピックは非常に明確かつ簡潔に表現されています。私自身、判断に迷った際にはすぐに*Best Practice*にアクセスし、必要な情報を入手するようにしています。例えば最近、帯状疱疹の男性患者さんを診る機会があり、抗ウイルス薬を使いたいと思ったのですが、投与期間に関して若干不確かな点があったため、*Best Practice*にアクセスしてみました。「疾患」の項目を選択し、次にその「治療」の項目を検索した結果、瞬時に最も適切な治療コースに関する最新のエビデンスとガイドラインを見つけ出すことができました。*Best Practice*のナビゲーション・設計システムによって必要な情報をすぐに入手することができ、本当に感心しました。

#### EBMの潜在性を探る画期的ツール

現在、従来の*Clinical Evidence*をも実装されている*Best Practice*は大きな成功を収めつつあり、また種々の臨床現場における日々のワークフローにも徐々に組み込まれつつあります。

*Best Practice*がもたらした最大の利点の一つは、このツールによって、われわれ自身が現在実際に、日常診療をサポートしてくれるエビデンスを活用できる立場になったということだと思います。*Best Practice*によって最新のエビデンスを参照することもできますが、より重要な点は、トップページから関心のあるトピックを簡単に選べ、患者さんの管理や治療の助けとなるようなサポート情報を自信を持って、かつ効果的に得ることができるという点であり、私はこれが最も重要なポイントだと思います。

#### お問合せ先

トライアルのお申し込み、使用方法に関するサポートおよびライセンスなど、*Best Practice*の詳細に関しましては・・・  
BMJ日本支店担当者（古川、E-mail: kfurukawa@bmjgroup.com、TEL: 03-4590-8067）までお問合せ下さい。

